令和6年度 社会福祉法人さくらんぼの里 事業報告

1. 運営方針

運営方針	実施内容及び今後の課題
(1) 利用者一人ひとりの実態に即した積極的な支援に努める。	(1) 利用者の実態把握に努め、実情に即した「個別支援計画」を作成するなどして支援内容を工夫した。
(2) 職務遂行に適切な職員を採用し、職員を適材適所に配属して、職務の効率化を図る。	(2) 職員の希望も取り入れ、適切な職務分担に努め意欲的に取り組めるようにした。
(3) 安全で清潔な生活しやすい施設設備などの環境を整備する。	(3) 施設内を清潔に保ち、整理整頓の推進に努めたが、スペースが手狭なため書類整理が課題になっている。
(4) 安定した運営ができるよう財政基盤を強化する。	(4) 財政上の無駄を排し、計画的で健全な資金活用に努めた。
(5) 生活介護・グループホームなどの事業拡大計画を立案する。	(5) 事業拡大に向けた計画作成にあたったが、課題が多く計画どおりに進展できていない。

2. 重点目標

重点目標	実施内容及び今後の課題
<p>(1) 利用者支援</p> <p>① 利用者の特性をふまえて、適切なサービスを提供する。</p> <p>② 機能の低下を防ぎ、持っている能力の維持・向上を図り、自立した日常生活と社会生活ができるようにする。</p> <p>③ 下請け加工作業、自主製品の生産や仕入れ商品の販売などを安定的に行い、工賃向上につなげる。</p> <p>④ 常時リスク管理に努め、利用者が安心安全に過ごせる生活環境作りに努める。</p> <p>⑤ 利用者の不利益になる虐待などの防止に努める。</p>	<p>① 利用者の特性にあった、サービスに振り分けて活動することができた。</p> <p>② 利用者の得意や強みに着目し、その能力の維持・向上に努め、多くの場面で自立した生活ができるようにした。</p> <p>③ 月額平均工賃は、生活介護が 4,918 円、B型が 15,516 円を確保することができた。</p> <p>④ 利用者の不安を除去できる体制整備に努めた。</p> <p>⑤ 虐待防止につながる研修に努め、職員の共通理解を図った。</p>

(2) 職員の職務及び処遇

- ① リーダー層、中堅層、若手層が相互に信頼しあい高めあう組織にする。
- ② 職員間相互の報連相(報告・連絡・相談)に努め、より一層の職員連携を強化する。
- ③ 将来的な世代交代を見据えた人材育成に努める。
- ④ 支援のあり方の向上に努め、自己研鑽に励む。
- ⑤ 職員採用に際しては、試用期間などにおける職務遂行に十分留意する。

- ① 職員の職務経験や職務内容を踏まえて、互いの協力により信頼醸成ができるようにした。
- ② 職員間の活発なコミュニケーションに努め、より良い職員連携を図ることができた。
- ③ 若手をリーダー層に登用するなどしているが、今後のより一層の世代交代を考慮した人材育成が必要である。
- ④ 利用者支援向上のための研修研鑽を推進し、自主的に資格取得に努める必要がある。
- ⑤ 職員採用は慎重を期して、職務遂行などの状況について多くの意見を求めて判断した。

(3) 施設設備等の環境整備

- ① 施設内外の環境改善に努める。
- ② 業務に必要な書類の保管整理に努める。
- ③ 利用者にとって機能的に活用できる環境を整備する。
- ④ 利用者が安心して過ごせる個別対応の場を確保する。

- ① 常時施設内外の環境を点検し、危険の早期発見に努めた。
- ② 共有書類の保管整理に努めているが、個人所有の書類整理が課題である。
- ③ 利用者の活動を紹介するギャラリーを廊下に設定できた。
- ④ 利用者にとってクールダウンできる場の確保に努めた。

(4) 財政基盤強化

- ① 常時適正で透明性のある財務管理に努め、見通しのある財務状況を維持する。
- ② 余裕資金が確保できるように努める。
- ③ 助成制度等を積極的に活用する。
- ④ のぞみの家・グループホームの利用者確保に努める。
- ⑤ 利用者の工賃向上・送迎利用・食事提供費用などの計画・実績を常時明確にして安定した運営に努める。

- ① 適正な会計処理によって、計画的な財務運営を行ったが、将来に向けた人材確保・車両導入のため厳しい状況。
- ② 人件費や役務費等の増額により、収支がマイナスを計上することになった。
- ③ 助成制度等の情報収集に努めて、施設設備の改善に役立てることができた。
- ④ 女子棟「すまいる」は2室空いていたが1室に入室が決まった。
- ⑤ 利用者にかかわる費用を月ごと数値でグラフ化して変化を把握している。

<p>(5) 事業拡大計画</p> <p>① 生活介護定数増に関する概要を作成する。</p> <p>② グループホーム3棟目建設計画の概要を作成する。</p>	<p>① 生活介護事業は採算見通しがたつニーズがないと判断している。</p> <p>② グループホーム3棟目の計画は建て貸で進めているが、地主の判断任せのため、計画が進んでいない。</p>
---	--

3. 到達目標

到達目標	実施内容及び今後の課題
<p>(1) 利用者支援</p> <p>① 利用者の平均工賃が年間13万円に達するようにする。</p> <p>② 収益性のある農福連携事業などを積極的に導入する。</p> <p>③ 本人や保護者の意見を取り入れた個別支援計画に基づき、PDCA(Plan → Do → Check → Action)サイクルを踏まえて適切な支援にあたる。</p> <p>④ ケース会議(毎月開催、利用者一人当たり年間2回以上実施)などにより、利用者一人ひとりの実情について共通理解を図り、支援の適正化に努める。</p>	<p>① 利用者の平均工賃が年間186,192(15,516/12月)円を達成することができた。</p> <p>② 農福連携では夏の猛暑の影響で作業依頼がなかった。</p> <p>③ 保護者聞きとりなどにより個別支援計画の作成に努め、より良い支援のあり方を模索してきたが、さらに焦点化した内容のものによって取り組む必要がある。</p> <p>④ ケース会議の実施により、利用者の実情について知ることができたが、支援に関する具体策をより掘り下げることが課題である。</p>
<p>(2) 職員の職務及び処遇</p> <p>① 業務上基本的な知識と技能を必要とする資格取得や研修受講に努める。</p> <p>② 利用者一人ひとりに合った作業効率の正確性や効率性向上のための援助や治具などの方法を工夫する。</p> <p>③ 利用者にとって、安定的に作業内容や量を確保できるように、取り引き先や販売網の開拓や交渉に努める。</p>	<p>① 資格取得のためには、研修時間の確保や費用がハードルになっていて、施設として十分な保障ができず、職員の自主性に任されているのが課題である。また、「職員ルールブック」を作成し、職員の基本的な職務内容を確認できるようにしている。</p> <p>② 加工作業・自主製品づくり・販売活動に役立つ利用者に合った場の設定や治具の工夫で作業効率を上げることができた。</p> <p>③ 自主製品の販売網拡大や加工作業の下請け先の開拓に努めた。</p>

<p>④ 職員の待遇改善に努め、勤務時間内で職務遂行できるよう、職務内容や役割分担を明確化・焦点化して、効率的で効果的な職務を行う。</p>	<p>④ 職員全体の残業時間は減少しているが、職務内容が偏って負担過重になっている職員に対する改善が必要である。</p>
<p>(3) 施設設備等の環境整備</p> <p>① 事務室内を各職員が機能的に使えるよう共有化スペースを設ける。</p> <p>② 事務室内の書類保存を明確にし、デジタル保存管理などに努める。</p>	<p>① 事務室の共有化スペースでなく、事務室書庫の整備により余裕ある事務室スペース確保を計画している。</p> <p>② 事務作業の効率化により、デジタル化を図るための計画が必要である。</p>
<p>(4) 財政基盤強化</p> <p>① 年間余裕資金が、2%程度確保できるようにする。</p> <p>② 国や市及び私的な助成資金の情報収集に努め、その確保に努める。</p> <p>③ GHの運営が円滑に実施できるように明確な資金計画を立案する。</p> <p>④ 食事提供の事業者との交渉の結果を踏まえ、提供料金の利用者負担がどの程度いいか検討し、保護者の了解を得る。</p>	<p>① 年間余裕資金が2%確保できなかった、資金収支で53万の黒字決算となった。</p> <p>② 日本財団より、ワゴン車の寄贈を得ることができた。</p> <p>③ グループホーム女子棟「すまいる」の2つの空室のうち1室がうまり、今後もう1室入所者を募る必要がある。</p> <p>④ 仕出し弁当を1食400円程度で提供し、順調に運用することができている。</p>
<p>(5) 事業拡大計画</p> <p>① 生活介護定数増に関する資金確保計画を策定する。</p> <p>② グループホーム3棟目建設に関する資金確保計画を策定する。</p> <p>③ 災害時及び感染症発生時に業務継続するための体制構築と情報共有のための研修会を行う。業務継続計画委員会は年2回以上、感染症対策委員会は年4回以上開催し、研修会は年2回開催する。</p>	<p>① 生活介護のニーズに見通しがたたず、事業拡大が困難であると判断している。</p> <p>② 建て貸計画で建設する予定で、地主と交渉中で回答待ちである。</p> <p>③ 計画どおり、各委員会及び研修会を開催することができた。</p>

4. 事業別運営内容

◎ 生活の質の向上

- ・ 過ごしやすい生活提供のための環境整備は、個室対応、個別の時間設定及び外出の機会を増やし、場面適応の力が向上した。
- ・ 年齢や特性に応じた支援の環境を整えるため、B型事業への相互利用を行った。自分の役割を理解し、活動することができた。

◎ 意思決定支援

- ・ 意見を発信できる利用者は限定されるが、一人ひとりの理解できる方法で、自己選択・決定の機会を多く取り入れ、選択の意思表示のもと活動につなげた。
- ・ 行事などの活動、利用者の意向を主体に参加意識と自立度を高めることができた。

◎ 権利擁護

- ・ 権利擁護・虐待防止等の担当職員の配置及び職員研修の実施及び研修参加の復命にて全員周知の徹底した。
- ・ 虐待及び身体拘束防止のため委員会を主に、年1回以上職員研修を行い、講師の説明の後、各職員の感想や施設内の懸念事項などについて検討する時間を設けた。

◎ 支援力向上

- ・ 全職員がでんかん、自閉症スペクトラム障害関連の基礎研修を受講。
- ・ 職務上の研修・資格の習得。外部・施設内研修の充実。
延べ73名が外部研修会に参加 全体研修5回開催。
- ・ 講師を招聘し症例研修を継続し、支援の共有化及び質の向上を図った。
- ・ 職員のストレス度チェックを実施し、質の高いサービス提供に努めた。また、職場内において、業務改善委員会を立ち上げ、改善点などについて検討した
 ストレス度 とても強い20% やや強い20% 普通30% 余りない30% ほとんどない0
 - ・ 細かい点検の疲れ
 - ・ 保護者とのやり取りは心労が絶えない
 - ・ 運転中の利用者の不穏、販売先の酔っ払い対応
 - ・ 良い雰囲気でのコミュニケーションがとれている
- 満足度 非常に満足14% やや満足21% 普通44% やや不満21% 大変不満0
 - ・ 配置基準より職員は多いはずであるが、忙しいと言う
 - ・ 他職員の言動が気になる
 - ・ 昼休みも利用者の関りがあり、気が休まらない
 - ・ 人間関係は良好である

(1) 生活介護事業

定員10名	令和5年度		令和6年度
利用者数	10名		10名
出席率	(1月～12月)	85.61%	85.49%
	(定員数対比)	85.61%	85.49%
支援区分	区分3…1人	区分4…7人	区分5…2人

- ①継続的な体験を積み重ね、場面への適応力を高める支援を行った。
- ・外出、公共施設利用（温泉・外食）年1回の活動も安定して活動できた。
- ②個々の特性に応じて、コミュニケーションを大切にし、豊かで安定した生活につなげるための環境整備に努めた。
- ・共同生活によって、他利用者との関わりと思いやりの向上を促す。
 - ・健康管理…看護職員による血圧測定の継続。個別対応で運動量の増加を図った。
- ③日々の生産活動・創作活動及び娯楽活動をとおして、経験の幅を広げながらステップアップを図った。
- ・全員が複数の作業と生産量をこなすことができた。

(2) 就労継続支援B型事業

定員30名	令和5年度	令和6年度
利用者数	34.9名	31.18名
出席率	(1月～12月) 95.42%	95.0%
	(定員数対比) 110.06%	103.94%

①就労活動

加齢及び他利用者の言動によって刺激や影響を受けやすい特性の利用者は、作業効率の低下が著しく、対応に比重がかかっている状況である。環境の整備及び利用者の力に合わせた目標の設定、作業能力の向上を図り工賃向上につなげる支援を行った。作業に従事できる時間及び集中する時間が短くなっている方も増えている現状が見える。

販売・自主製品の伸びが見られ、収入アップにつながった。

- ・自主製品…バザー、大型注文の対応に増産の工夫。贈答品の販売
 こんにやく 市の優先調達方針参入〔市立保育園への配達〕
 子ども食堂へ食材の提供を継続中
 しそ巻き 利用者の携われる工程を拡大
- ・販売…販売戦略「贈答品」は好評であるが、まだまだPRの必要がある。
 バザー復活に伴い、職員の休日出勤が大幅に増え、収入も上がった。
- ・下請作業…一人ひとりの強みを伸ばし、効率を上げていくことは、継続中。
 利用者の相性などに配慮し、環境の整備も継続が必要。

② 施設外支援…外部での経験を通して社会的マナーと意欲の向上がみられた。

③ 施設外就労…生産、作業効率の向上及び社会適応力の育成を継続。

④ 資源回収…毎月1回実施。家庭及び事業所の資源回収をとおして、社会参加と山形市ごみ減量推進へ貢献した。

(3) 共同生活援助事業

グループホーム「すまいる」山形市小白川五丁目 2017年12月開所
グループホーム「びーす」山形市鉄砲町二丁目 2022年5月開所

	定員	利用者数	毎週帰省	月1,2回	帰省無し
すまいる	6名	4名+体験	2名	2名	1名
びーす	7名	7名	3名	3名	長期1名

利用状況

定員13名	令和5年度	令和6年度
利用者数	11名	12名
利用率	(1月~12月) 65.59%	66.62%
	(定員数対比) 64.66%	65.3%

- ① 家としてくつろぐ場の提供・自立ある生活ができるよう、スタッフと情報を共有し統一した対応に努めた。
- ② GHの一員として誕生会や季節の行事を皆で企画し、希望に沿って実施した。
- ③ 立地条件から、休日の昼食買い物場所が限定され、バリエーションが難しい。外食や出前などで、一部対応した。
- ④ 帰省の計画は、本人の希望と安定を考慮して家庭と調整した
- ⑤ 休日や長期休みの過ごし方支援として、本人の希望による計画又は移動支援の活用などを取り入れ、充実した生活を提供した。

5. 法人の部〔理事会・評議員会等〕

開催日	曜	内 容	備 考
5月27日	月	法人監査	のぞみの家 監事 2名
6月 6日	木	第1回 理事会 1. 評議員会の開催について 2. 令和5年度 事業報告 3. 令和5年度 決算 監査報告 4. 令和5年度 社会福祉充実残額 5. 定款の一部変更について 6. 役員報酬規程の一部改正について	のぞみの家 理事 5名 欠席 1名 監事 2名
6月27日	火	第1回 評議員会 1. 令和5年度 事業報告 2. 令和5年度 決算 監査報告 3. 令和5年度 社会福祉充実残額 4. 定款の一部変更について 5. 役員報酬規程の一部変更について	のぞみの家 評議員 7名 監事 2名
11月15日	金	第三者委員会 定例会	のぞみの家 委員 3名
12月17日	火	第2回 理事会 1. 令和6年度 12月補正収支予算 2. 職員給与規程の一部改正について 3. 臨時職員終業規則規程の一部改正 4. 評議員選・解任委員会運営規程の一部改正	のぞみの家 理事 6名 監事 2名
3月25日	火	第3回 理事会 1. 令和6年度最終補正収支予算 2. 令和7年度 経営計画 3. 令和7年度 当初予算 4. 職員給料規程の一部改正 5. 育児・介護休業等に関する規程の一部改正 6. 臨時職員就業規則の一部改正 7. 法人賠償責任保障の更新	のぞみの家 理事 6名 監事 1名

6. 施設の現況

(1) 利用状況報告 支給決定市町村 (令和7年3月現在)

	山形市		上山市		村山市		長井市		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
生活介護	5	3	2						10
就労B型	23	6	1			1	1		32
計	37		3			1	1		42
GHすまいる		4				1			5
GHぴーす	6						1		7
計	10					1	1		12

(2) 利用者在籍状況 (令和7年3月現在変化なし)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生活介護	男	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
就労B型	男	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	女	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7
	計	34	33	33	33	33	33	33	33	33	32	32	32
GH	男	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6
体験	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	計	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13

(3) 職員の状況

	期首	期末	資格	
のぞみの家 職員	11	12	介護福祉士 3名	社会福祉士 1名
パート/看護師	4 / 1	4 / 1	介護福祉士 1名	看護師 1名
GH	14	14		
送迎員	4	4		
嘱託医	1	1	医師 1名	
計	35	36		

(4) 活動・行事

開催日	曜	内 容	備 考
4月	金	花見 作業班ごと	近隣市
6月22日	土	施設営繕 [あじさいロード・園庭・側溝]	のぞみの家
7月6日	月	あじさい・こんにやく祭	のぞみの家
7月18日	木	採収体験 プルーン (利用者10名・職員3名)	悠創の丘
8月		外 食 ① (作業班毎)	市 内
8月31日	土	大掃除	のぞみの家
9月 6日	金	日帰り旅行	のぞみの家
9月10日	火	嘱託医健診	のぞみの家
10月 5日	土	のぞみの家まつり	のぞみの家
11月		インフルエンザ予防接種 嘱託医・各かかりつけ医	のぞみの家
11月		招待「すぎそば」	すぎそば
11月26日	火	招待「ふたりのロッセ」ミュージカル 希望者	天童
12月21日	土	クリスマス会 (マックスバリュ東原町慰問)	のぞみの家
1月		外 食 ②	すぎそば
1月18日	土	軽運動 ①	のぞみの家
2月15日	土	軽運動 ②	のぞみの家
3月22日	土	年度末食事会	シベール
毎月	20	クリーン作戦	地 域
毎月		B型 ウォーキング	地 域
6月17日 ～8月23日		ふれ愛実習 9週間 9名	ふれ愛

(5) 会議・委員会・研修会

会議名		実施日	参加者
BCP 業務継続計画委員会	委員会	令和6年5月30日(木)	5名
	委員会	令和7年2月25日(火)	5名
感染対策委員会	委員会	令和6年7月11日(木)	4名
	委員会	令和6年7月11日(木)	4名
	委員会	令和6年8月26日(月)	4名
	研修会	令和6年8月31日(土)	14名
	研修会	令和6年9月27日(金)	14名
	委員会	令和7年2月28日(金)	5名
	委員会	令和7年3月22日(土)	5名
権利擁護・ 虐待防止委員会	権利委員会	令和6年5月7日(火)	4名
	権利研修会	令和7年2月15日(土)	13名
	虐待研修会	令和6年5月15日(水)	13名
	虐待研修会	令和6年5月30日(木)	8名
苦情解決委員会	定例会	令和6年11月15日(金)	第三者委員 3名
防災訓練	総合訓練	令和6年11月4日(水)	53名
	総合訓練	令和7年3月12日(水)	51名
GH 防災訓練	GH すまいる	令和6年10月30日(水)	6名
		令和7年3月31日(月)	6名
	GH ぴーす	令和6年10月31日(木)	10名
		令和7年3月31日(月)	8名

【 相談・苦情受付状況 】

○一般市民より ・ 公用車運転時、一時停止無視

・ 訴えの内容に一致しないため不確定だが、なお十分注意するよう全体周知

○GH

・ 独語や手叩きの音に反応し、不穏となり大声を出す影響 [利用者から]

・ 個室内で破れた衣服が見つかる [母親から相談]

➡確認したところ、新しいものが欲しくて自分で破いた

・ 休日の昼食買い物限定される [利用者から相談]

➡テイクアウトや調理などでバリエーションを持つ

(6) バザー関係

開催日	曜	内 容	場 所
4月28日	日	リナワールド	リナワールド
4月29日	月	小立町内祭礼	小立中嶋稻荷神社
5月3～5日	土・日	まるごと市 (春)	野草園
7月13日	土	わたしの会社祭り	わたしの会社
7/20・21日	土・日	にこにこマルシェ (夏)	県民ホールイベント広場
8月10日	土	小立夏祭り	滝山小学校
9月 4日	水	障がい者施設販売	セブンイレブン十日町
9月 7日	水	JA滝山支店ふれあい祭り	JA滝山支店
9/15・16日	日・月	まるごと市 (秋)	野草園
9月29日	日	やまがた馬まつり	みはらしの丘
10月 5日	土	のぞみの家祭	のぞみの家
10月20日	日	滝山まつり	滝山コミュニティセンター
11月10日	日	にこにこマルシェ (秋)	県民ホールイベント広場
1月10日	金	初市	本町
1月11日	土	道の駅やまがた蔵王販売	道の駅やまがた蔵王

(7) 実習受け入れ状況

期間	曜	内 容	人数
6月27日 ～ 7月10日	木 水	村山特別支援学校 産業現場などにおける実習	1名
7月29日 ～ 8月 5日	月 月	羽陽学園短期大学 保育実習	1名
8月19日 ～ 8月30日	月 月	東北文教短期大学 保育実習	1名
9月 5日 ～ 9月19日	木 木	東北文教短期大学 保育実習	1名
9月11日 ～ 9月12日	水 木	厚生看護学校 1年生体験実習	3名
9月26日 ～ 9月27日	木 金	厚生看護学校 1年生体験実習	3名
10月 7日 ～ 10月11日	月 金	山形大学 介護等体験	2名
11月11日 ～ 11月15日	月 金	山形大学 介護等体験	2名

(8) 研修報告

日付	曜	研修名	参加者	備考
4/23	火	福祉協会総会	田中	ヒルズサンピア
4/26	金	保護者会総会	田中	山形市福祉センター
5/15	水	福祉施設向け 2024年度 障害者虐待防止対策への取り組み	林・熊田	Zoomでのオンライン研修
5/22	水	いきいきの郷 評議員選任・解任委員会	田中	いきいきの郷
5/22	水	東北文教大学・短大 連絡協議会	工藤	Zoomでのオンライン会議
5/28	水	山形県就労センター総会	田中	山形県福祉センター
5/28	水	安管協定例総会	荒井	ビックウイング
5/30	木	障害者虐待防止対策への取り組み 研修報告会	全職員	のぞみの家
6/3.4	月・火	令和6年度 障がい児・者福祉関係新任職員研 修	千場・草苺	山形県社会福祉研修センター
6/4	火	セルフポップ研修	吉田	Zoomでのオンライン研修
6/5	水	山形経営者協議会	田中	ヒルズサンピア
6/18	火	施設等連絡会総会	田中	山形市福祉センター
6/27	木	いきいきの郷 役員会議	田中	いきいきの里
7/11	木	社会福祉専門講座「感染症対策研 修」	工藤・林	Zoomでのオンライン研修
7/12	金	高次脳機能障害 研修会	工藤	山形病院
7/19	金	生活支援部会	吉田	山形市福祉センター
7/29	月	山形県社協研修会・総会	田中	ヒルズサンピア
7/30	火	支援スタッフ部会	松田	山形市福祉センター
8/3	土	感染症対策研修会 研修報告会	全職員	のぞみの家
8/6	火	生活介護支援スタッフ部会	草苺	心音
8/19	月	地域における公益的活動研修 会	田中	山形市福祉センター
8/22	木	自立支援協議会	田中	山形市役所
8/23	金	地域支援部会	松田	山形市福祉センター
8/27	火	安心生活部会	工藤・千場	山形市福祉センター
8/29.30	木・金	サービス管理責任者実践研修①・②	工藤・峯田	上山市三友エンジニア 体育文化センター
8/30	金	生産性向上セミナー	田中	商工会議所会館
9/13	金	サービス管理責任者実践研修③	工藤・峯田	上山市三友エンジニア 体育文化センター
9/17	火	特別講演会	田中	山形テルサ
9/20	金	児童発達支援部会	工藤	山形市福祉センター
10/8	火	公益的活動部会	田中	山形市福祉センター

10/11	金	権利擁護推進委員研修会	工藤	山形市福祉センター
10/22	火	第三者委員研修会	佐竹	山形県自治会館
10/22	火	生活支援部会 事業所見学会	林・熊田	①グループホーム心音 ②わんらいふ旅籠町
10/25	金	市長と語る懇談会	田中	山形市福祉センター
10/29.30	火・水	経営者協セミナー研修会	田中	メトロポリタン
11/7	木	整備管理者講習会	荒井	トラック会館
11/8	金	第1回施設長会議	田中	山形県産業創造支援センター
11/9	土	職場内研修会 「フィオーレやまがた」施設見学	各職員	フィオーレやまがた
11/11	月	退職金説明会	吉田	ビックウイング
11/15	金	第三者委員会定例会	田中・荒井 工藤・林	のぞみの家
11/21	木	HACCP 研修会	片田	霞城セントラル 保健センター
11/27	水	福祉施設等連絡会 研修会・懇談会	工藤	国際ホテル
11/27	水	山形県社会就労センター 協議会職員視察研修会	千場	①山形県鶴峰園 ②愛光園ワークセンター大山
11/29	金	自立支援協議会	田中	山形市役所
12/10	火	生活介護支援スタッフ部会	草薙	心音
12/11	水	安管協研修	荒井	山形県総合運動公園
12/13	金	営業拡大研修会	松田	山形県庁
1/23	木	成年後見人講座	田中・工藤 林・千場・ 片田	のぞみの家 保護者 10 名参加
2/4	火	施設長研修会 宮城県施設視察	工藤・林	①はらから福祉会 ②宮城県障がい者福祉協会 第二啓生園
2/10	月	山形県経営者協セミナー	黒木・田中	ヒルズサンピア
2/15	土	職場内研修会 虐待防止研修	各職員	のぞみの家 講義動画を視聴し、グループワ ークを実施
2/21	金	就労継続支援 B 型事業所 情報共有・意見交換会	松田	山形市福祉センター
2/25	火	商品開発研修会	松田	山形県産業創造支援センター
2/26	水	公益的活動検討委員会	田中	山形市福祉センター
2/26	水	ICT 導入支援についての研修会	吉田	Zoom によるオンライン研修
3/24	月	業務改善成果報告会	田中・吉田	Zoom によるオンライン研修
3/24	月	日中活動支援部会	田中・吉田 工藤	Zoom によるオンライン研修
3/28	金	職場内研修会 症例研究	各職員	のぞみの家 外部講師：佐竹真次先生